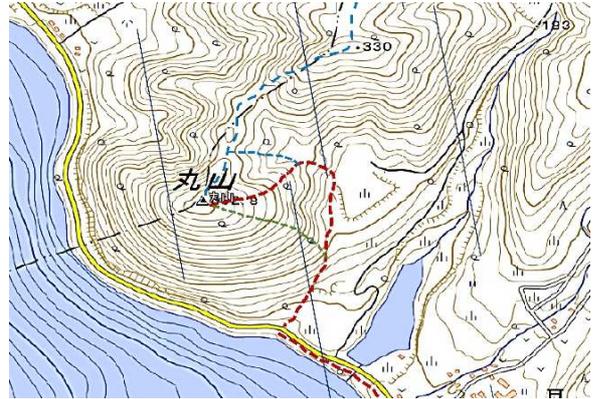


洞爺丸山

仲洞爺のレイクサイドにひっそり佇む丸山に登る

山域・山名	壮瞥町仲洞爺 洞爺丸山(302.8m)
山行日	令和3年 11月 21日(日)
コース	仲洞爺レイクサイドコース
メンバー	CL藤木,西田(芳),西田(昌),藤木た,川村 津川,森永,本野,伊藤,小笠原,太田,増川
山行形式	藪漕ぎ尾根道周回登山
コースタイム	8:30伊達道の駅 9:10仲洞爺P場 9:30登山口 10:00北西尾根取付 11:00山頂~東尾根下山~12:25登山口~12:45P場



湖畔歩きが楽しい!!

湖畔から三角に立ち上がっている丸山が目前です。P場から直ぐに湖畔に降りる。洞爺湖は中島を映して綺麗。湖に流れ込む小川で大小四か所の渡渉。波打ち際に細く長い水草が緑色の大蛇の様にうねりながら延々に続いている。側を走る湖畔道路のカーブミラーが登山口です。まもなく木の枝に"ヤカン"が差し込まれ熊対策で叩いて・・・?

落石注意!!

路の無い斜面にコンパスを合わせて低い笹を頼りに登る。ゴロゴロと転がる石はちょっとさわると落石!! 斜度30度?崖を外して降ろしてもらったロープを頼りに攀じ登った。全員が登りきってホット一息ついて休憩する。それから藪の中を漕ぎ樹林の中に三角点を見つける、そして、近くの樹に『洞爺丸山』の標識がっていた。尾根続きのズ〜っと奥に早月山の頭が見える。"晴夫さん、西田さん、太田さん等々雪山のルートが頭の中をぐるぐる廻っている様です。



10mの壁?

小雨模様、雨具を着て登りルートの左よりを下る。岩と急な斜面を20mロープとスリングテープを4本つないで降りた。全員降りきって「ありがとうございます!!」遠くに"ヤカン"が見えて登りルートに合流ホットと安心しました。でも、あのヤカンが『シャレコーベ』の様に下を向いて急いで通り過ぎた。

二年ぶりのお風呂!!

『来夢人の湯』にはリンゴが浮いていた。コロナ禍で二年近く我慢のお風呂でした。普通の生活がこんなにも嬉しいのですね!!

解散・・・

伊達道の駅でリーダーより突然感想を訊かれた昌子さん「大して期待してなかったけれど変化に富んでも良かったです」・・・標高差222.8mの小さな山でしたがチョッとスリルな山でした。

リーダー、サブリーダー皆さんありがとうございました。

記録 川村純子

記録 森永真樹子レポート

湖畔の縁を約500m位歩き登山口へ・・・緩やかな林の中を歩き急登ではないかと想いつつ段々と"藪漕ぎ始まり結構なキツサに、途中段のルンゼでロープを垂らして頂き『お助けロープ』に助けられながら三等三角点の山頂に無事に到着する。一時間半位かな・・・落ち葉が散った木立の間から『洞爺湖』が見える。「良いねイイネ」の歓声をあげてじ〜っと眺める。あやしい小雨が降ってきたので下山を開始。笹につかまり乍ら下って行ったら何と『崖下』に出てきた。リーダーがロープを張ってくれた。ロープにしっかり掴みながら15m位降りて無事に沢筋に安着するが"暫くぶりで不安"でした。登りのルートに合流して登山口に到着。天気も日差しが戻り洞爺湖が綺麗であった。湖畔沿いの『豆腐屋さん』でお土産を買って『キムンド温泉』に入り『果樹園』でリンゴをゲットして早めの帰宅。楽しい充実した一日を感謝します。

